

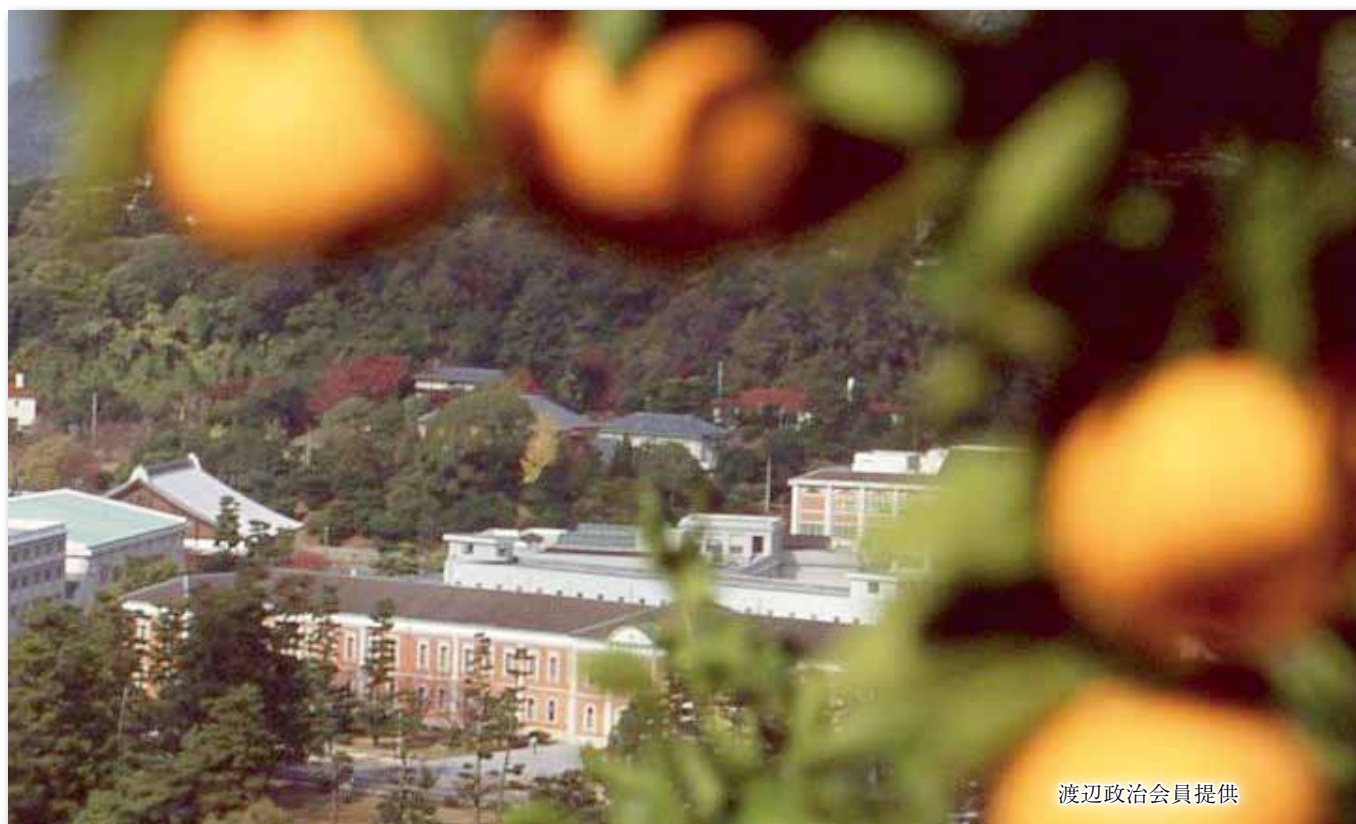


第 41 号

平成25年1月1日

〈発行〉
(公・社)江田島市シルバ－
人 材 セ ン タ ー

江田島市江田島町中央1-15-15
江田島市シルバ－ワークプラザ
TEL (0823) 42-5211
FAX (0823) 42-5051



渡辺政治会員提供



新年のあいさつ

理事長 田口 宜久

平成25年癸巳^{みづのとし}の年明けおめでとうございます。昨年も当シルバ－人材センターに対し、格別のご高配を賜り、役員員及び会員を代表して心から厚くお礼申し上げます。本年も旧年に倍してご支援・ご指導賜りますようお願い申し上げます。

さて、一年の始まりは、お正月です。ふだんご無沙汰している友や親類縁者が親しみ睦ぶと言うことで、陰暦正月の異名では「むすび月」と呼ばれたそうです。皆様のご家庭ではいかがでしょうか。昨年来市井^{しせい}では「絆」と言う言葉が流行し、連帯の輪が広がっています。社会生活の中で結び付きが希薄化されつつあるとき、今一度見つめ直してはどうでしょうか。

それにしても、我が国を始め世界経済の状況は、なかなか明るい兆候が見えてきません。一日も早いデフレからの脱却と安定成長が切望されるところです。加えて、我が国の少子高齢化・過疎化の波は待ったなしです。社会構造の変化に対応する社会保障制度等の改革が必須となっています。

そうした中、当シルバ－人材センターでは、公益社団法人としての税法上の制約を踏まえ、持続可能な組織とするには、財務基盤の確立が最重要課題でありますので、役員員一同お一人層の努力をする所存でありますから、これまで以上にご理解ご協力をお願いいたします。

結びとなりましたが、本年も皆様方にとって健やかで、希望と期待の持てる年であることを祈念申し上げます。



江田島市長 田中 達美

新春のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。シルバー人材センターの皆様におかれましては、明るい希望に満ちた新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素から本市行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、我が国は、総人口が減少する中で世界に例のない速さで高齢化が進んでおります。本市もその例外ではなく、高齢社会に突入しています。さらには、団

塊の世代が高齢化社会への仲間入りをするなど、変化する社会情勢への対応は、ますます重要な課題になってくるものと考えています。

このような中、高齢者の方々が長年の経験から培ってきた知識や技能を生かして、働く意欲のある高齢者に就業の場を提供するなど貴センターの果たす役割は極めて重要になってくるものと思います。

高齢者の方々が生きがいをもち、活力のある地域社会づくりを目指し、また、健康寿命を伸ばすためにも、貴センターの活動に対して、ご期待申し上げます。本市では、「江田島市総合計画」において、高齢者がいきいきと楽しく暮らせる環境づくりを推進することとしていま



江田島市議会議長 上田 正

年頭のご挨拶

念頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、田口宜久理事長をはじめ会員の皆様には、私も江田島市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

江田島市シルバー人材センターにおかれましては、日頃から本市の福祉情勢の推進に、多大なるご尽力とご指導をいただき、深く感謝申し上げますとともに、

福祉社会の担い手として重要な役割を果たされ、着実に発展しておりますことに對し、心から敬意を表する次第でございます。

さて、我が国は高齢社会と呼ばれるに至り久しいですが、近年では高齢化は急速に進み、今後もさらに高齢化率が上昇し、世界に例を見ない水準の高齢社会を迎えようとしています。

こうした状況の下、これからのまちづくりにおいてそれぞれの地域の歴史、文化、自然などの地域特性を熟知し、豊富な知識と経験、技術を有しておられる高齢者の皆様の存在が必要不可欠であると考えます。

そういった意味からも、シルバー人材センターに登録され、元気に活動されて

す。貴センターへの支援などに努めて参ることとしています。

結びに、貴センターの会員の皆様におかれましては、常に安全就業を第一に心がけ、いつまでもご壮健で、ますますご活躍されることを祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



いる皆様には、今年もますますお元気で、各方面で活躍いただき、まちづくりの先駆者としてお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、「公益社団法人江田島市シルバー人材センター」のますますのご発展と会員の皆様にとりまして、光り輝くすばらしい年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人とは

江田島市シルバー人材センターは公益社団法人制度改革に伴い、広島県公益認定等審議会の厳しい審査を経て、平成23年3月22日広島県知事から「公益社団法人江田島市シルバー人材センター」として認定を受けました。また、平成23年4月1日に登記申請を終え、公益社団法人として新たなスタートをいたしました。

公益社団法人となれば、税制上の優遇措置があり、また社会的信用度が高くなるなどのメリットもありますが、反面、より厳正な事業運営と義務等が強化されその分責任も重くなります。

今後は、今以上に公共性、公益性の高い法人としての自覚が求められます。これからも会員一人ひとりが従前に増して、「親切・丁寧」な仕事をを行い、また「より質の高いサービス」に努め、さらに高い評価と厚い信頼感を得ることが、地域に貢献できるシルバー事業の発展に繋がっていくものと思います。

いずれにしても、「公益社団法人制度」の主旨に沿い、関係法令を順守しながら、公正で公平な運営に努めます。また、地域から信頼されるセンターを目指し事業を積極的に展開していくことが求められますので、会員皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

安全は全てに最優先で！！



の参加がありました。

7月31日(火)
大柿老人福祉センターで、安全講習会を開催したところ、猛暑にも関わらず43名の参加がありました。

副理事長が「今年も、各地で熱中症による重篤事故や交通事故が多く発生しているので、気を付けてください」との開会あいさつの後、江田島警察署の山岡交通係長と檜垣交通係員から「高齢者の交通安全」についての講習がありました。

一 昨年、江田島市内では4件の交通死亡事故が発生したが、そのうち3件が高齢者によるものであった。

二 高齢になると身体機能が低下して、ブレーキ操作が遅れたり、信号を見落したりする。

三 50kmで走る車は、1秒で約14m走行するので早めのブレーキと安全速度を守ること。

四 夜間の歩行には、運転者に良く分かる白っぽい服を着たり、反射材を付けて交通事故に遭わないようにする。

歩行者も運転者も「もしかしたら自転車飛び出すかも知れない」など、いつも「もしかしたら・・・」と考えながら事故防止に努めましょう。との内容でした。

第2時限は、ビデオによる「刈払機の安全作業」の講習で、作業に従事する全員が相互に安全確認と機器の整備点検が重要であることを再確認しました。

高齢者運転講習に参加して

まず、今年の5月中旬頃、広島県公安委員会から一通の書簡が届きました。何だろうと思い開封して見ると、「講習等連絡書」なる物が入っていました。内容は、「この連絡書を受け取った者は、今すぐ最寄りの自動車学校に予約電話をしてください。」との事でした。即、江田島自動車学校に連絡して、平成24年7月4日(水)の予約を取りました。当日、8時30分迄に、必要な物は、運転免許証・講習連絡受書・認知機能検査手数料650円と高齢者講習手数料5,350円の計6,000円を用意して参加して下さいとの事でした。

7月4日、少々天気が悪い日でしたが自動車学校に行きました。受講者は私を入れて6名。皆早く申し込んだのだろう、私は6人中6番でした。受付が終わり、受検教室に入りました。皆、何となく緊張しているようでした。

先ず、最初の予備検査は認知機能

最後に、加藤孝右安全委員長が「65歳以上の高齢者は身体に蓄える水分割合が低下しているので、こまめに水分を補給しましょう」と挨拶して閉会しました。

参加者には、「塩アメ」「お茶のペットボトル」と「反射シール」が配られ講習会を終了しました。

T・N

検査(記憶力と判断力)

①今日の年・月・日・曜日・時間を聞かれました。

検査の前に係官が「今日は、平成24年7月4日水曜日9時5分です。」と何回も(5〜6回)言って、3分後に検査をしました。が、出来ない人がいました。この様な検査を受けていない人は無理でしょうか？

次の検査は②絵を見て、どのような絵があったかを当てる問題です。

1枚のパネルに4つの絵が有ります。果物・乗物・食べ物・動物等々、全部で4枚16の物体を答える検査です。少し大変ですが、後でヒントを出してくれましたので、どうか全問正解出来ました。



次は記憶力、判断力の検査

③時刻を示した絵を描く検査です。先ず、「最初に持っている時計を外して、ポケットに入れてください」と言われました。「時計の絵を大きく書いてください。時刻を示した時計を描いてください」との事、時刻は2時45分が出題されました。B5判の紙だったと思います。大きい円を描いて、ポイントになる12・3・6・9の数字を入れ、間の数字も入れてOKです。運転する時に一番大事なことは記憶力、判断力です。この検査は、最も必要で不可欠な検査だと思えます。

後半は、高齢者講習です。

①ビデオ等で交通ルールの再確認
②運転適性と機材の使用による指導で、視力・視野・動体視力等の検査です。

③全ての検査結果を見ての運転指導。校内の運転コースを走り、指導員からの助言を受けます。個人差はありますが、加齢により、身体機能の変化、記憶力・判断力の低下が心配されます。「これからは油断することなく、適度な緊張と慎重さを忘れず安全運転に努めましょう」と指導されました。

3年に一度自分の運転技量の再確認のためにも、高齢者講習の受講をお勧めします。

そこで、「かっこいい運転よりも」「確かな運転」をモットーに！！

N・Y

広島市人材センターの 「シルバーフェア」に

参加して

8月26日紙屋町地下街シャレオ中央広場において広島市シルバー人材センターの「シルバーフェア」が開催され、昨年に引き続き「竹炭工房おがき」も展示販売を行いました。

「竹炭工房おがき」は江田島市の委託事業であり、当日は市の職員、梶川さんとシルバー会員の森合さん、沼田さんと私の4名で販売することになりました。私は、昨年の9月から竹炭工房おがきに従事しています。竹の切り出しから窯入れ、竹炭の選別といった一連の作業を一通り経験しましたが、販売するのは初めてでうまく販売できるか心配でした。竹炭製品を作るには、竹を窯入れし、4日から5日かけて排煙温度が300℃以上まで竹を蒸し焼き状態



にします。その途中、排煙温度が70℃、120℃になった時、品質の良い竹酢液ができます。また窯入れた竹

炭を、床下用・土壌改良用・バーベキュー用・民芸品用と選別します。

さて商品の販売ですが、34品目を展示し26品目販売しました。粒竹炭、金魚水槽用、炭小町がよく売れていました。商品を購入された方は、アトラクションに参加されている人の家族や親せきの方が多くうでした。中には昨年竹炭製品を購入された方が、竹筒飾りを購入されました。また私が商品とした室内用の（竹かご入炭飾り）が2つも販売されたことは大変うれしかったです。

来年もシルバーフェアに参加するのであれば、どのような商品がお客様に喜ばれるか、今から竹をどの様な取り方をすれば良いかを考えながら作業をしたいと思っています。

R・T

サマーフェスタ

2012

8月4日(土)

海上自衛隊第1術科学校グラウンドで「サマーフェスタ2012」が開催されました。

シルバー人材センターは炊き込みご飯、カキ氷、綿菓子販売。ソーマンは食品衛生の関係で販売できませんでした。

支える仲間

炊き込みご飯は前日から準備し、当日は大型の炊飯器を持ちこみ女性会員が大奮闘。かき氷はシロップを10種類用意し、大幅にメニュー増を図りました。花火が始まるころには炊き込みご飯もかき氷も完売しました。綿菓子は2台の綿菓子機をフル回転、8時半に電気が消されたので並んでいたお客さんにお断りすることになりました。



ポートプラザ

土曜夜市に出店

7月28日(土)みなと公園でポートプラザが開催されました。呉の花火打ち上げに合わせて行われる年一回の土曜夜市で、この日はサクソフォンの演奏や、市内で活動中の公民館グループがフラダンスを披露しました。

シルバーは、カボチャや玉ねぎ、スイカ、綿菓子を販売しました。今年野菜類は苦戦しましたが、暗くなるにしたがって綿菓子がよく売れました。

民泊受け入れをして

10月18日木曜日、奈良平城高校の民泊第2班を受け入れました。大柿の川本さんから、「民泊を受けないか?」と誘われ、「主人に相談します」と返事しました。「やってみる」と主人、「まさか大変なのに:民泊は有志の人がすること、私なんか」と思っていました。

夏バテ気味で、何度川本さんに励まされたことか。3人の男子生徒は、どの子も良い子でした。農業体験、夕食が終わって、釣竿を持って近くの棧橋まで主人が連れて行きました。その間にサツマイモで大学芋を作りました。風が吹くので魚は釣れませんでした。釣りが帰って大学芋を大皿で出すと、3人とも「美味し



い」と全部たいらげて、足りませんでした。こんなに喜んで食べてくれて嬉しかった。

翌日の離島式に出席して棧橋まで見送りました。3人の生徒が主人に「おじさんありがとう」と抱擁、小柄な主人が折れそうに、私まで感動しました。主人が「人生の中で民泊を受けて、感動した、そういう思い出もあって良いのでは…」の言葉に全ての心配と疲れが吹っ飛んだ気持ちで一杯です。

M・H



盆灯籠作り

今年も例年のとおり、盆灯籠を作る季節がやって来ました。6月中旬頃から始めようとのこと、私も参加することに。参加者は、山田会員が中心となって女性会員3名、男性会員1名の計4名です。

製作するノルマは、白・色合わせで約1千本とのこと。一瞬啞然とし

われら町を

ましたが、ベテランの女性群がいるのでどうにかなるだろうと思います。昨年までは、張る紙を各人で切っていました。鉛筆で型を取って、何枚か紙を重ねてカッターで切っていました。今年

は、専門の業者に依頼して、全ての

紙型を一括して、裁断してもらったらしい。そのため、竹枠にぴったり合うようになっていて、作業も昨年より早く合理的でした。竹枠を作ってくれたチップ班の方に感謝したい。竹枠は全部で1千50本作ったのですが、本当に大変だっただろうと思います。一つの仕事を成し遂げるためには、大勢の人の協力があるのは言うまでもありませんが、お互いに感謝を伝え合

うことも

最高に大

事な事で

す。シル

バーの理

念とする、

自主・

自立・共

働・共助

がなけれ

ば、作業



の成就是本物とは言えません。一人ひとりの協力が大事で有ることを伝えたい。

女性会員は、土・日も出て作業を続けたりしく、また、時には家に持ち帰って作業をしたらしく、本当に大変だったと思います。お陰で7月30日で受注を打ち切り、完成した商品は、白109本、色917本計1,026本でした。多くの本数を注文された方には、配達をして今年の盆灯籠作業も無事終了しました。

盆灯籠の由来は、俗にその形から「あさがお灯籠」とも言われ、「浄土真宗本願寺派」の安芸門徒により伝えられ、今では広島市とその周辺で独特の習俗となっているとのことです。「合掌」

N・Y

フェスティバル江田島 に出店

11月25日(日)のフェスティバルは、晴天に恵まれ多くの人たちが集まりました。シルバー人材センターの女性たちは、前日の午後から10名で下拵えし、当日は午前7時から8名で準備しました。10時過ぎから「うどん・炊き込みご飯・猪汁」の販売を開始しました。アツという間に長蛇の列ができ、目の回るような忙しさ。どれも「おいしい、おいしい」の連発で、瞬く間に完売しました。



「猪汁」は、具だくさんで臭みも無し、と大好評でした。参加した女性たちは疲れも忘れ、ホットする間もなく後片付けをしました。お手伝いされた女性の方々、本当にありがとうございました。参加した人から「来年もがんばりましょうね。」の声を後に散会しました。

H・K

また、研修棟では、恒例のお手玉・竹細工教室を開催。親子とも真剣な表情で、お手玉や竹トンボ作りに挑戦していました。

土曜朝市始まる！！

シルバー会員が丹精込めて作った新鮮野菜の販売をする“土曜朝市”を「You me townえたじま」の駐車場の一角を利用し、去る12月1日（土）から始めました。

当日、8時頃から会員が大根、白菜、ブロッコリー、さつま芋など10種類の野菜などを陳列し、販売を開始しました。あいにくの強風と寒さで客足が心配されましたが、新鮮さと安さが自慢の野菜は午前中には完売し、上々の初日でした。



これから毎週土曜日の午前中に正面玄関前で開く予定ですが、シルバーの朝市が多くの人に利用してもらえよう種類や数量を増やして、充実していきたいと思っています。

また、土曜朝市への出店会員も募集しています。家庭菜園などで野菜作りをされている方、野菜作りに関心のある方は是非参加してください。

これから毎週土曜日の午前中に正面玄関前で開く予定ですが、シルバーの朝市が多くの人に利用してもらえよう種類や数量を増やして、充実していきたいと思っています。

これから毎週土曜日の午前中に正面玄関前で開く予定ですが、シルバーの朝市が多くの人に利用してもらえよう種類や数量を増やして、充実していきたいと思っています。

また、土曜朝市への出店会員も募集しています。家庭菜園などで野菜作りをされている方、野菜作りに関心のある方は是非参加してください。

シルバーの奉仕活動に参加して

10月20日（土）午前9時、市役所広場へ、シルバー人材センターの有志会員82人（男性71人女性11人）と、昨年に引き続き田中市長の参加を得て、道路周辺のごみ収集を行いました。

センターの田口理事長が「市民に、シルバーの存在感を示して欲しい」、田中市長の「若い人の手本になって欲しい」等の挨拶の後、事務局の説明で高田・鹿川・江南方面の3班に分かれて、それぞれの沿道のごみ拾いと収集を行いました。

私は江南方面に参加し、皆とわいわい言いながら歩きました。ノ



ニール袋を持った人は拾った燃えないゴミを収集して歩きました。私は火箸を持って植え込みの中、道端のゴミを拾っては仕分けをし、それぞれの袋の中に入れてながら歩きました。拾いながら気づいたのは沿道にはタバコの吸い殻、植え込みの中に

コ・鎌を持った人は道端の草やつるを刈ったり、青ビニール袋を持った人は皆が拾った燃えるゴミを黒ビ

配分金収入について

Q シルバー人材センターの配分金収入はどうなるの？

A 所得税法上「雑所得」となります。

雑所得の金額は、原則として公的年金等の所得と公的年金等以外の雑収入の合計から実際にかかった経費

Y・K



返して帰り、登地監事の解散の挨拶で終了しました。

昨日は雨で、今日も午前中雨が残るとの予報でしたが、さすがに秋日和で良い事をした後は、今日の天気のように気持ちの良い爽やかな気分が家路につきました。

いると感じました。これは江田島市民の環境に対するマナーが向上しているのでは？と思われま

寄付金控除について

Q 寄付をすると税金が戻ってくると聞いたのですが・・・

A 個人が、国や地方公共団体、特定公益増進法人等に対し特定寄付金をした時は、所得税法で寄付金控除として所得金額から控除されます。

公益社団法人等寄附金特別控除の計算式

その年中に支出した公益社団法人等寄附金（一定の要件を満たすもの）の額の合計額	- 2千円
× 40 %	
公益社団法人等寄附金特別控除額※	
※100未満の端数出切捨て	

◎寄付金控除又は寄附金特別控除を受ける場合は、税務署に確定申告書を提出する必要があります。

の合計を差し引いた額を合算したものです。ただし、配分金収入がある場合は、公的年金以外の雑収入を得るため要した経費の合計が少額であっても、特例で最大65万円まで必要経費とすることが出来ます。詳しいことは、市役所税務課又は税務署にお尋ねください。

理事会が開催されました

第2回理事会平成24年5月11日（火）・第3回理事会平成24年10月30日（火）、いずれも13時30分からシルバーワークプラザで開催されました。

第2回理事会審議事項

○第6号議案

安全・適正就業基準等の制定について

保健師さん
からの
アドバイス

カサカサ・ムズムズ 冬の乾燥肌を予防しましょう

冬になると、すねや腕などが白い粉をふいて、かゆくてたまらない！という人が多いのではないでしょう

か。その原因の多くは、皮膚の乾燥です。健康な人の皮膚は、皮膚の表面に近い角質層によって、水分が保たれています。ところが、冬の乾燥や刺激によって角質層の保湿機能が低下すると皮膚は乾燥します。特に高齢になると新陳代謝の低下により、皮膚の保湿力も低下します。また、皮膚のバリア機能が低下した状態では、知覚神経が過敏になるために、外部からの刺激に反応してかゆみが生じやすくなります。

日常生活で以下のことを心がけると、乾燥やつらいかゆみを軽減できます。次にあげるポイントを参考に、乾燥肌を予防しましょう。

1 室内では、暖房は控えめにして加湿する

加湿器を使うのが一番有効的です。しかし、室内に洗濯物を干したり、濡らしたタオルを干すだけでも十分効果はあります。エアコンは控え、湿度50%～60%を保つようにしましょう。

2 熱い風呂は控える

冬は熱いお風呂にゆつくりつかりたいところですが、温度が高くと皮脂が溶け出るため、ぬるめのお湯（40℃以下）にたかるようにしましょう。また、身体を洗うときは皮膚を強くこすらないようにしましょう。



3 保湿剤をこまめに塗る

尿酸・ワセリン・セラミドなどが配合された保湿剤がよく使われています。入浴後に塗るのが効果的です。薬局などでも購入することができます。



4 洗濯は、すすぎをしっかりと

肌着は、肌によさしい素材を洗濯ものにのこされたわずかな洗剤に反応し、かゆみが生じることがあります。すすぎ・脱水はしっかりと行うようにしましょう。また、直に皮膚に当たる肌着は、肌によさしい素材を選び繊維はできるだけ避けましょう。

5 バランスのよい食事を心掛ける

健康な肌を維持するため、タンパク質、ビタミンA・Cなどの栄養素を含んだ食事を摂るようにしましょう。また、アクの強い食品はかゆみが生じたり、増したりすることもありますので、控えるようにしましょう。

6 規則正しい生活を心がける

睡眠不足・疲労・ストレスなどは、血液の循環が悪くなり乾燥を引き起こす原因となります。規則正しい生活を心がけましょう。

肌のかゆみには乾燥以外に、じんましん・アトピー性皮膚炎、糖尿病など内臓の病気が原因で生じる場合があります。湿疹が出たり、かゆみが強い場合は、まず、皮膚科で受診しましょう。

○第7号議案

新規加入会員の承認について

○第3号報告

職務の執行状況報告について

※いずれも承認されました。

○その他

救急箱を各班ごとに用意することになりました。

第3回理事会審議事項

○第8号議案

理事及び監事候補者選考要綱の一部を改正する要綱(案)について

○第9号議案

平成24年度収支補正予算(第1号)案について

○第10号議案

新規加入会員の承認について

○第4号報告

職務の執行状況報告について

※いずれも承認されました。

○その他

イズミでの土曜朝市出店と、1月6日に放映される竹炭工場の竹炭のこと、リレーセンターでの事故を受けて安全就業・適正就業等について話し合われました。

互助会新役員決定

会長 東谷 寛明

副会長 加藤 尚子

監事 大年 正光・益村 守範

幹事 芦川 征子・小河 淑文

事務局(庶務) 鎌田 健二・鈴野 正彦

(会計) 重松 鈴子

※任期は平成26年5月30日まで

親睦旅行は「別府の湯」



平成24年度の互助会の親睦旅行が、11月11日(日)・12日(月)に行われ、行先は、大分県の「三和酒類・葡萄酒工房」と「杵築城」、全国八幡宮総本社「宇佐八幡神宮」を別府温泉に泊まって巡る旅でした。

出発当日の朝は、観光バスが江田島市内を左回りで回り、参加者がそれぞれの便利の良い所で止まってくれましたので、そこから乗車しました。しかし、その日は別の観光バスも走り、指定場所に待っていた人は、そのバスが止まらずに通過するので、置いて行かれたと慌てたり、また先に来たバスに乗り込むハプニ

ングもありましたが、大君で全員32名が揃いました。(うち女性会員11名)

早瀬大橋を渡り、東谷互助会長が「今朝は雨の中の旅立ちとなったが、畑の玉ねぎの水やりをする苦勞も無くなったので、旅行を大いに楽しみましょう」とユーモラスな挨拶をされ、山陽道を西に向かいました。

11時に壇ノ浦PAに着き、少し早い昼食の「関サバ煮付け」を海峡を見ながら味わいました。

九州路に入ったところには雨も上がり、三和酒類工房の葡萄酒を試飲して園内を散策した後、杵築城に立ち



寄り5時に今夜の宿「望海」に到着しました。

早速、別府の名湯に浸かり、6時30分からの宴会は、田口理事長の乾杯音頭で始まり、三奈戸会員の踊りやカラオケを楽しみ、最後は全員が輪になって炭坑節を踊り、お開きになりました。

翌日は、宿を8時50分に発って、海地獄を観光し、11時に宇佐八幡宮に到着しました。厳かな参道を登り、ご本殿に参拝して「今年1年を健康で過ごされたことのお礼と、来年も無病息災」をお祈りしました。

午後1時20分に宇佐八幡宮を立ち、7時過ぎに江田島入り。今度は逆回りで各々降りして、全員が元気で帰りました。

今回も、互助会役員が有り余るほ

どの飲み物等を用意してくれて、豪勢な旅になりました。また、バスは安全運転で、添乗員も気配りが良くて快適な親睦旅行でした。

T・N

剪定講習会のお知らせ

次のとおり講習会を開催します。既に剪定作業に従事しておられる方、新しくチャレンジしてみたい方など多数ご参加をお待ちしています。

一日時

平成25年2月13日(水)・14日(木)
午前10時から午後4時まで

一 場所

旧秋月小学校(江田島町秋月2丁目)

一 講師

広島市佐伯区湯木町造園業
宮内 民生先生

一 定員50名。定員になり次第締め切ります。

参加をご希望の方は、2月6日(水)までに、事務局(電話0823-4215211)へご連絡ください。



(去年の剪定講習会)